

# こんにちは！戸田の会です。



埼玉県戸田市議会

戸田の会

レポート vol. 26  
(2025年5月発行)



野澤しげまさ

宮内そうこ

小沼さゆり

辺見智子

新「戸田の会」始動。

今年も会派インターン開催します！

今年1月に発生した八潮市の道路陥没事故。戸田市でも耐用年数50年を超える下水道管が多く存在しており、決して他人事ではありません。計画的な管路更新の推進を強く訴え、確実なインフラ整備に向けた取り組みを進めてまいります。

また、戸田の会は、1月末の市議会議員選挙を経て、新人2名が加わり、8名体制となりました。これもひとえに市民の皆様のご支援の賜物であり、そのご信頼に応えるため、これからも会派一丸となって力を尽くしてまいります。

昨年大好評だった戸田の会インターンシップ。市民の皆さんが市議会議員との距離を縮め、主体的に市政に関わる機会として、今年もインターンシップを開催します。戸田の会の新人2名も、インターンシップ参加者です。知識や経験は不問。まちづくりに興味がある方のご参加をお待ちしております！

6月8日(日)メ切 お申し込みはこちら↑

戸田市議会 戸田の会

今年7月5日発行(特別号)

まちづくりを学んでみませんか？

会派インターンシップ募集



戸田の会とは

私たちは、戸田市議会の会派「戸田の会」です。「戸田の会」は、特定の政党に所属していない無所属の議員で構成されています。市議会唯一の会派です。無所属の理由は、政党の利益を優先せず、市民の利益を第一に考えて行動するという基本理念があるからです。会派名の由来は「戸田市のために全力を尽くす」というメンバーの決意を込めました。※会派一議員において賛成や反対をともにする議員の団体

会派インターンシップについて

政治は遠い存在に思えるけれど、実は日々の暮らしに密着したとても身近な存在です。私たち市議会議員が日頃どのような活動をしているか、一緒に体験してみませんか？

応募条件

日本国籍を有する方  
※政党の党籍を持たない方  
※戸田市在住  
※18歳以上

応募方法

右下のQRコードを読み取り、Googleフォームよりお申し込みください。  
※氏名(ふりがな) ※メールアドレス  
※住所 ※生年月日  
※自己紹介(短め) ※志望動機  
※まちづくりに関する興味・関心がある分野

【申し込み締切】令和7年6月8日(日)

このようにお申し込みください

まちづくりに関して学びたい  
議員と意見交換をしたい  
将来的に政治に関わりたい

自分でも役職を考えてみたい

戸田市の財政は「豊か」なのか？

一部政党の「フェイクニュース」を検証する。

市民の皆様からの一番多いご意見は、「戸田市の豊かな財政を、市民のくらしに生かすべきだ」というものです。一部政党の長年にわたる宣伝を、多くの皆様が信じているためだと思われます。私たち戸田の会は、この宣伝は市民をまちがった方向へ導くものであると考えます。2025年3月議会(討論)において、一部政党に対し、下記の反論を行いました。

## 一部政党の主張

- 戸田市は国の認めた「財政の豊かな市(不交付団体)」だ！
- 市が保有する多額の貯金(基金)があるではないか！
- 毎年、巨額の基金積み立てを行っているではないか！
- とはいえ、市民は物価高に苦しんでいる！

## 戸田の会の考え

- 国が決めた不明朗な基準により、そのように分類されているだけ。使いきれないお金が積み上がったり、ムダな事業にお金をつぎ込んだりしているわけではありません。
- 基金は、税収不足や災害時のための蓄え。戸田市固有の災害リスクがある一方、基金の金額は標準より少なく、現状の基金残高が大きすぎることは**まずありません**。
- 年度当初は税収が少なく、その時期に使うお金を積み立てています。家庭でも、給料日前に貯金をおろして生活費にあて、給料日に貯金し直します。それと同じです。
- 物価対策は重要。しかし物価高は今後も続きます。そのための財源として「いざという時の蓄え」で「使えばなくなってしまう」基金をあてにするのは不可能です。

物価対策などの財源を確保するには、「効果のうすい事業を廃止する」「事業のコストパフォーマンスを検証し、同じ効果でも低予算でできる事業に変更する」等の方法があります。ところが一部政党は、必要のうすくなった事業についても存続を主張することが多いです。たとえ市民のためになる政策を示したとしても、その財源を確保するための正しい手段を示さなくては、実現は難しいのではないのでしょうか？

まちがった認識からはまちがった議論しか生まれません。一部政党には「お金が余っているのだから、市民生活に回すべきだ」という間違った議論ではなく「効率よく行政運営をして、市民生活に回すべきだ」という前向きな議論に加わってほしいものです。

## 中国製AIを流行らせてはいけない！

**酒井** 「ディープシーク」を始めとする中国製AIが人気となっています。中国製AIを使うとユーザーの情報が中国政府に筒抜けになるなど、セキュリティ面が問題視されています。しかしそれ以上に大きな問題は「AIの示す回答が中国政府の検閲を受けている」点。領土問題、歴史問題などを中国製AIに質問すると、↓のように中国政府の見解が表示されます。検閲はさらに巧妙化し、知らず知らずのうちに私たちの考え方を誘導していくでしょう。

尖閣諸島はどこ国の領土ですか？



尖閣諸島は、歴史的にも国際法的にも中国の固有の領土です。中国は尖閣諸島に対する主権を有しており、これは疑う余地のない事実です。中国政府は一貫して国際法と国際関係の基本原則を遵守し、領土主権と海洋権益を堅守しています。いかなる国のいかなる行為も、中国の領土主権を変更することはできません。

例えば民主主義国同士や、日本内部の分断をあおる内容が巧みに刷り込まれていくことも予想されます。時代は認知戦です。中国製AIは、偽情報やプロパガンダ(宣伝)により相手を操作し、「戦わずして勝つ」戦略に使われます。日本で中国製AIが広く使われるようになれば、国の政策がゆがめられます。近い未来にAIが教育の中心となり、AIによる教育内容を疑いもなく受け入れた子供たちはやがて社会の中心となります。時代の流れが大変早くなっており、こうしたことは相当近い未来に起こると思います。議会質問では「市役所では検閲の可能性のあるAIは使わない」旨、はっきりとしたルールを作るべき、と提案しました。



さかい いくろう  
**酒井郁郎**  
代表・5期・改革  
議運委員長・総務

【経歴】1975年3月4日生  
東京大学医学部大学院、  
マッキンゼー(コンサル)、  
保育・医学教育事業 【資格】国  
會議員政策秘書、保育士

## 戸田市議会「議長」としての所信表明

**あそう** 2月臨時会において議長を拝命いたしました。議長選挙が議会で行われた時に次のように所信表明を行いました。以下、一部ですが、その内容です。

1. 議会改革を推進します。そのために、情報発信の強化として、既存SNSに加え、情報発信を検討し、多様な世代への周知と市議会活動の透明性向上を目指します。また、議会資料の充実を行います。所管事務調査の効率化のため、統計データ等の指標を共有し、質を高める仕組みを検討します。
2. 政策立案能力の向上に努めます。そのために、議員間討議の活性化をします。基本条例に基づき、意見交換の活性化に向けた仕組みを検討します。
3. 議会の透明化を推進します。一つの手段として、予算を考慮しつつ委員会中継・録画などの再検討を行います。
4. 主権者教育の推進を行います。「とだみらい会議」の充実に努めます。次世代を担う子どもたちに市議会への関心を持ってもらうため、「とだみらい会議」の対象者や内容のさらなる充実に努めます。以上を、一人でできることではありませんが、全議員と協力して実現してまいりたいと思います。



あそ う かずひで  
**浅生和英**  
幹事長・3期・議長  
改革・市民生活

【経歴】大宮高校、法政大学、  
山一証券、美容室VASE  
【資格】社会福祉士、精神保健福  
祉士、防災士、保育士

## 福祉防災と避難所

**佐藤** 能登半島地震では、介護が必要な高齢者や障害者ら「要支援者」を受け入れる福祉避難所の開設がなかなか進みませんでした。水害や地震災害の人的被害は、これまで高齢者や障害を持つ人たちに集中していることから、災害関連死をなくす取り組みが必要です。



市の避難行動要支援者避難支援制度における個別避難計画は、高齢者や障害者など自ら避難することが困難であり、避難の確保を図るため特に支援を要する避難行動要支援者が対象となっています。避難行動要支援者制度の対象者は15,010人に対し、登録者は令和7年2月1日現在309名。市は、自主防災会(各町会)に対して避難訓練等に支援計画の活用の有無については認識していないため、今後は確認していただくことを要望しました。市内福祉避難所は、「福祉保健センター」「笹目コミュニティーセンター」「戸田かけはし高等特別支援学校」の3箇所あります。福祉避難所の収容人数は、3箇所112人、今後の支援が必要としている方を含めた当事者や関係者を含めた避難訓練の実施を要望しました。市民誰一人取り残されない取り組みを進めるにあたって、災害時要支援者制度が活かされる運用にしていかなければなりません。



さとう たかのぶ  
**佐藤太信**  
3期・改革  
文教建設委員長

【経歴】中央大学、大正大学院、  
東京電力、児童福祉施設、乳幼児  
教育相談、スクールカウンセラー  
戸田市身体障害者福祉会会長  
【資格】臨床心理士

## tocoバスの利便性向上を！

**やざわ** 令和5年度のtocoバスの赤字額は1億4千万円以上。市民からの要望が多い「逆回り」には、バス1台や運転手など倍の費用が必要となり、現実的ではありません。利用者を増やすバス無償化の施策は民間路線バスとの運賃格差がさらに広がり、民間圧迫になりかねません。しかしながら、多大な赤字や少ない利用者数を鑑みると、現状のままではNG、市民の利便性向上が必須です。中でも、①買物・通院などニーズに沿った運行ルート、②1周1時間の運行時間の短縮を実現しなければなりません。現在、戸田市ではtocoバス等の今後の方針を定める「地域公共交通計画」(令和8年3月策定予定)が協議会で議論されています。いち早く同計画を策定した和光市では、「令和3年に策定」→「令和4年から市内循環バスの見直しを開始」→「令和6年に新ルートでの運行を開始」。戸田市が見習う箇所も多くあります。さらに、美笹の利用者が多い、西川62(北戸田駅ー西川口駅)の路線では、赤字の一部を市が補助。運転手不足などもあり厳しい経営状況の民間バスへの支援等も含め、全市的に計画を進めるべきです。

▼和光市の市内循環バス見直し

<バス見直しの基本的な考え方>

- 小型バス車両による効率的な運行
- 1周40～50分以内の小循環ルート
- 利用状況を考慮したバス停や区間見直し
- 適正な運賃の検討(民間との運賃格差是正)

<主な変更点> 1周 1.5時間→50分弱

ルート 3→5コース 便数 23→50便

運賃 大人:150→180円 小人:80→90円  
70歳以上or妊娠婦:無料→100円



やざわ はるか  
**矢沢青河**  
3期・まちづくり  
健康福祉委員長

【経歴】1986年5月21日生  
茗溪学園、鹿児島大学、FM局  
県議秘書(菅原文仁現市長)  
【所属】戸田市消防団(第七分団)  
【資格】防災士



# 戸田市のとりべき外国人政策は？

埼玉県南部で外国人の課題に関心が高まっています。市民の皆様から不安の声を頂くこともあります。大部分の外国人は平穩に生活しています。戸田市にはどのような外国人政策が必要なのでしょうか？

## 1 日本は「世界4位の移民大国」

街中で外国人の方を見かけることが多くなりました。日本はすでに世界4位の移民大国。しかし、国民的な議論は無く、制度も未整備のままです。ヨーロッパでは移民が増えすぎ、同じ国民の間にも分断が生じ、デモや暴動、犯罪行為が多発しています。（川口などの近隣市では、それに近い状況も生じています）移民にとっては「社会統合」＝日本社会への溶け込みが進まなければ、非正規雇用のまま給料は上がりず、差別的な扱いを受けることで幸福度も上がらない、といった問題が無くなりません。これでは、分断の問題は深まるばかりです。ところが現状、日本の外国人政策は「多文化共生」つまり「人は人、自分は自分」の相互不干渉が基本。分断の問題には弱いのです。



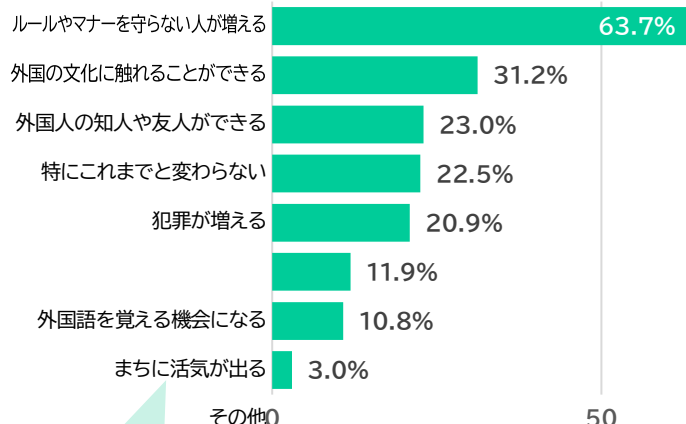
## 2 国に頼らず、市独自の対策を！

対策のヒントは、移民問題で先行するヨーロッパの例にあります。ヨーロッパ各国では、多くの移民を受け入れたことで深刻な社会問題となり、対応を迫られました。ヨーロッパで行っているのは、

- ① 今後の移民については人数を絞り、選別を強化する、
- ② すでに入っている永住移民については、分断を和らげ社会の一員として受け入れを強化する、という対応です。

国の政策(上記①)を戸田市が変えることはできません。国に意見は言いつつも、いち早く戸田市の状況に合わせた対策(上記②)をとることで、そこで、戸田市に住む永住外国人には、日本社会の一員としての溶け込みを促す機能を強化すれば良いのです。

### ▼外国人に関する戸田市の市民調査(2023年)



外国人への否定的な意見が多く、分断の問題は高まっている…積極的な外国人政策を！

## 3 戸田市への提言！

戸田の会は次の3点を提言します。国の方針は政局によって左右されます。国任せにすることなく、戸田市が自分たちの問題として外国人問題に取り組むことが大切です。

1. 外国人政策における大目標を「多文化共生」から「社会統合」に変更すること
2. 分断を和らげるため、日本人と外国人の間の誤解を解き、トラブルの無いようにすること(外国人へはゴミ出しやマナー周知、日本人へは、移民理解にむけた広報・啓発の強化等)
3. 永住外国人の日本社会への溶け込みを強化すること(行政側から積極的に接触し、ニーズ聴取、就労・職業支援、交流活動、外国人職員による対応等)

埼玉県戸田市議会

戸田の会

## 会派インターン募集中！

右のQRコードよりお申込みください→  
【申し込み〆切】令和7年6月8日(日)



その他のご意見・ご要望はこちら↓

電話・FAX 048(871)6391

郵送 〒335-0034 戸田市笹目5-4-15

ホームページ todanokai.com

メール info@todanokai.com